

あなたの声をみんなの声に みんなの声をまちの形に

みんなの党 みんなの党通信

2011. 2.28 第2号

編集 みんなの党さいたま市議会第1支部
URL: <http://www.minnanokaori.net>富田かおりの
現場
レポート

ここが問題！公園整備

一人あたり畳1枚分！

◇ さいたま市は19政令市中、下から6番目

さいたま市は、目指すまちの姿として『住み続けたいなるまち』をあげています。現状はどうでしょう。武蔵浦和のラムザタワーに住むTさん(29)は「南区は特に身近な自然環境が少ない、文教都市といわれるが文化施設が少ない。これでは、ふるさと意識は生まれにくい」と、あきらめ顔です。

住環境には公園は欠かせません。さいたま市の公園面積は626.21ha(平成22年4月1日現在)で、1人当たり5.11㎡です。政令市19市中、下から6番目、トップの神戸市17㎡の3分の1程度です。

◇ 南区は最低規模、桜区の10分の1以下

「休日ぐらいは子どもと遊びたいが、武蔵浦和駅周辺には、のびのびと遊べるような公園がありません」。近くの高層マンションに住むYさん(39)は、ビルの谷間の空き地でサッカーに興じるお子さんを眼で追いながら、話してくれました。

南区の1人当たりの公園面積は1.70㎡で最下位の中央区の1.69㎡とほぼ同じ。一人当たりタタミ1枚分という狭さで、桜区の17.51㎡と比べて10分の1以下です。人口密集地域では公園不足は深刻です。笹目川沿いの高層マンションに住む主婦は「近くのドブ川で子どもたちがザリガニ取りに夢中になっているのを見ると、かわいそう」と話していました。自然環境の保全、災害時の避難場所、スポーツ・レクリエーションの場所の確保など市民の多様なニーズに応える公園の整備は、きわめて重要です。「郷土としての愛着と誇りが持てるまちづくり」の実現のために、皆さんとともに取り組んでいきたいと思えます。

富田かおりはこうしたい
未使用公有地の活用や借地方式による身近な公園の整備推進
笹目川の親水公園化の促進
自然を生かした白幡沼の活用と整備



自然が残る白幡沼

現場の声で市政を動かす 子どもたちの笑顔あふれる街に

Your Voice (あなたの声&みんなの声)

みんなの願いで実現した公園

村上蓉子さん(仮名) 南区別所所在住

「県公舎」の建物が解体されたのは平成20年1月ころだったでしょうか。頑強な建物も大型の重機で破壊され、数日でさら地になりました。別所2丁目一带は閑静な住宅地で、公的な施設といえば浦和別所児童センターだけです。もちろん公園などはありません。当時、私は児童センターに親子でよく来ており、「県公舎跡地に公園ができて、児童センターと一体で使えたらいいなあ」と思っていました。まわりのお母さんたちともそのように話していました。

その時は、単なる雑談でしたが、まさかその時のみんなの夢が実現するとは思っていませんでした。自治会を中心に署名活動が始まり、昨年3月末に県と市の間で土地の売買契約がまとまったと聞きました。公園整備の第1歩が踏み出されたのです。

この小さな土地から、子どもたちの元気な声が響き渡る日も遠くないことでしょう。その日が来たら、子どもたちに「お母さんたちの願いで実現したのよ」と話してあげたいと思っています。



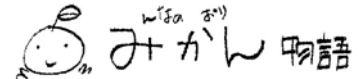
(仮称) 別所2丁目公園

面積 約950㎡

所在地 南区別所2丁目1602-1



南区内で誕生する予定の新しい公園です。市議会上程中
 (仮称) 鹿手袋県職員住宅跡地公園 1200㎡
 鹿手袋4丁目594-1
 (仮称) 辻鉢木公園 2360㎡ 辻3丁目2489-6



「波沢茶」と名前で知られる
 深谷に生まれ、
 県庁に勤めていた
 母の影響で
 浦和が大好き

都心に近く落ち着いた街
 20歳から浦和に住み
 大学に通う

文学部で卒業は「大岡昇平」
 一人の疑問をみんなに伝える
 新聞社の仕事にあらがれ、
 埼玉新聞社に入社

虐待、貧困、介護...
 教育、福祉問題で
 健筆をふるう

つづく



公園のこと
 を調べていて
 気づいたこと
 だが、南区には川や沼が多く、その周辺のほとん
 どが公園化されている▼別所沼公園、白幡沼、笹目川
 の親水公園。六辻水辺公園。秋ヶ瀬緑道などは、ま
 さに区民の宝だと思う▼今回取材した「(仮称)別所
 2丁目公園」は、1000㎡に満たない。かつて県の幹
 部公舎だった土地を「みんなが憩える場所に」と、地
 域住民らが署名活動をして公園化。市の新年度予算
 案に工事関連費が盛り込まれた▼自治会の人たちは夏
 の草むしりなど自主管理を買って出ている。計画段
 階から近隣住民が参加してこそ、愛着が持てる公園
 になるだろう▼予定地近くに住む40代のお母さん
 は「いつもはゲームばかりの小学生の息子が、父親と
 一緒に遊びに行くのを楽しみにしている」と笑顔。区
 民の「宝」は、地域の生活を豊かにしてこそ輝く。



新人富田かおりの政治活動を手伝ってくださるボランティアを募集しています。富田かおりの姿勢に賛同いただける方、一緒にまちづくりを考え、行動してくださる方。ご意見もお寄せください。

あなたの声をお聞かせください

Email: tomita@minnanokaori.net



市政に新鮮力!



富田かおり

検索